

# 総展望

強豪揃いの  
激闘に!?



周年連覇とV3が期待される毒島誠  
強敵は茅原悠紀と馬場貴也・白井英治

## 円熟の優出名人・池田浩二

3月の68周年以来、7カ月ぶりに再び全国から強豪が集結する。その68周年覇者が毒島誠。当地での強さはホームの桐生以上といっても過言ではない。当地周年は65周年から4年連続優出中で、66・68周年で優勝している。

その直近3年の中間年、67周年を豪快なまくりで制したのが茅原悠紀。今年は7月末の段階ですでにSG3優出と絶好調。こころ一番では果敢に握ることが多い。

昨年の賞金王を争った馬場貴也と白井英治も当然V候補だ。馬場はMVPを獲得、白井は賞金王に輝いた。白井は今年、一般戦が主だったとはいえ、7月時点でぶっちぎりの最多勝で勝率も1位。8月末からGI復帰の予定だ。

68周年で準優勝だった池田浩二は65・67周年でも優出している。池田も今年のSGで3優出。とにかく大崩れがなく準優でも勝負強い。

## 台頭する磯部誠らの新勢力

昨年に続いて今年も、記念戦線では初優勝が次々に出現。とくにSGは4節開催して3回が初優勝だ。

この周年にも、クラシックの覇者・土屋智則とグランドチャンピオンを制した磯部誠が参戦する。とくに磯部はオーシャンカップでも連続優出して準優勝。その差しワザは実に冴えている。

島村隆幸は4月にGI初優勝を遂げるとすぐ2個目のGIを獲得。その潜在能力がついに花開いた。

GIタイトルこそまだだが、菅章哉の参戦は実に楽しみだ。超伸び仕様でまくりを連発。6月の蒲郡周年ではGI初優出も果たした。多摩川は久しぶりだが、このスピード水面でどこまで暴れ回るか、ワクワクさせてくれる。

## GW戦優勝の石渡鉄兵

地元・東京支部からは10人が出場する。そのうち5人は5月のゴールデンウィークの地元戦で優出。そこで優勝した石渡鉄兵は、若い頃よりもむしろ今の方が充実している印象。準優勝の濱野谷憲吾はオールスターでも準Vに食い込むなど、相変わらず大舞台では強い。

8月末のメモリアルに多摩川推薦で出場したのが中野次郎と長田頼宗だ。中野は60周年の覇者で、久々のGI奪還をまくろむ。長田は2016年以降8年続けて当地の推薦を受けている純ホーム。やはり地元周年Vは悲願だ。

## ●ウェイキークップ 最近10年の優勝者

開催	年度	優勝選手
第68回	2022年度	毒島 誠
第67回	2021年度	茅原 悠紀
第66回	2020年度	毒島 誠
第65回	2019年度	菊地 孝平
第64回	2018年度	峰 竜太
第63回	2017年度	三井所尊春
第62回	2016年度	篠崎 仁志
第61回	2015年度	瓜生 正義
第60回	2014年度	中野 次郎
第59回	2013年度	吉田 弘文

※赤字は今回出場の選手

# ダブル ドリーム戦

ファンの皆さんの投票で決定しました!



初日(10/15@)12R ウェイキードリーム戦



1号艇  
3590 東京 濱野谷憲吾



2号艇  
3897 山口 白井英治



3号艇  
4262 滋賀 馬場貴也



4号艇  
4024 三重 井口佳典



5号艇  
4586 愛知 磯部 誠



6号艇  
4075 東京 中野次郎

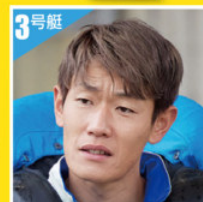
2日目(10/16@)12R 是政ドリーム戦



1号艇  
3941 愛知 池田浩二



2号艇  
4238 群馬 毒島 誠



3号艇  
4418 岡山 茅原悠紀



4号艇  
3415 大阪 松井 繁



5号艇  
3716 東京 石渡鉄兵



6号艇  
4337 愛知 平本真之